

所信表明

諏訪部孝敏

所信を述べさせていただきます。

富士宮市にも大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症は、5類になったとはいえ、引き続き、感染症対策と経済復興という2つを両立させながら市政を進めていく必要があると考えております。

さて、市長同様に私たち議員は、市民からの付託を受けて、この議会において発言をさせていただいております。

富士宮市の将来都市像である、富士山の恵みを活かした元気に輝く国際文化都市をめざしていく上で、我々議員は、議案に対して、ただ単に賛成、反対を示すのではなく、その議論の過程でしっかりその議案の本質を市民の皆様には知らせる必要があります。

市民から選ばれた選良である22人の議員のそれぞれの発言は、市民お一人お一人の意見であります。

富士宮市をこよなく愛し、富士宮市の発展、市民の安心・安全と幸福を求めると同じ目標を持っています。

しかし、その一方、22人の議員がいるということは、22通りの思いがあるということです。

お互い主張するところは主張し、譲るところは譲り合って議論を重ねることにより、少数意見も反映できるよう活発な議論を実践していくことが大切であると思います。

今回、私は、12年間の議員活動そして副議長の経験を生かし、議長という重責を担いたく、立候補いたしました。

市議会基本条例の議長の責務にもあるように、議会の代表として中立かつ公平な職務の遂行に努め、話し合いを中心とした民主的で円満な議会運営を行っていきたく思っていますので、議員各位の絶大なるご支援を心からお願い申し上げます。議長選挙の立候補に当たっての所信表明といたします。